

りんご共済制度40周年 青森県りんご共済加入促進大会を開催

～ 早期に加入率50%達成を目指す ～



農家経営安定のため加入率50%を早期達成目標に掲げた

大会には、日ごろ推進現場で活躍する果樹共済加入推進員はじめ関係者480人のほか、来賓として青森県知事（青山副知事代理出席）、各組合加入促進協議会を構成する市町村、農業協同組合、農業委員会、県民局、青森県りんご協会、全農あおもり、青森県農業会議、各市場などの関係機関代表者60人の合計540人が参加しました。

大会では「大会決議」「大会宣言」が全会一致で決議され、最後に加入率50%達成に向けて参加者全員で「ガンバロー」を三唱し閉会しました。

青森市の青森市民ホールにおいて、平成25年8月23日（金）に「りんご共済制度40周年青森県りんご共済加入促進大会」が青森県農業共済組合連合会及び青森県果樹共済加入促進協議会が主催し、開催されました。

この加入促進大会は、りんご共済が今年で制度開始40年を迎えたことから、りんご生産者に制度開始40周年を強くアピールして共済加入機運を盛り上げるとともに、NOSAI役職員の推進意識も高めて、早期に加入率50%を達成することを目的に開催したものです。



ガンバロー三唱で加入促進の機運を盛りあげる参加者たち

◆◆ 大会決議 ◆◆

- 1 キャンペーン等加入促進強化期間を設定して集中的啓発を行う
- 2 全ての自然災害が対象となる総合一般方式の加入促進を図る
- 3 園地巡回、青空教室など農家と直接対話する積極的な普及活動を展開する
- 4 農家の信頼と期待に応えるため、りんご共済の制度改善に努める

◆◆ 大会宣言 ◆◆

青森県りんごは、130年余りにわたり受け継がれてきた栽培技術と生産農家のたゆまぬ努力により、世界に誇れる日本を代表するブランドとして国内外で高く評価されている。そのりんご栽培には毎年、様々な自然災害が発生しているが、生産者はその都度、立ち向かい乗り越えてきた。

近年は、さまざまな災害が発生しているが、その際、被災した農家の中で減収の補てんが行われず、万が一にも経営が再建できず、離農に至るといった事態はなんとしても防がなければならない。

りんご共済の使命は、まさに、これら自然災害からの減収を軽減し、被災した生産農家の経営安定セーフティーネットを図ることである。しかしながら、現在のりんご共済加入はまだ低位にあり、りんご共済制度の機能が十分に発揮されていない状況にある。

このためNOSAI団体は、被災農家の経営安定と「青森りんご」を守るために、りんご共済加入の一層の拡大を強く図るものとする。そして、加入率50%早期達成に向けて、青森県、市町村、農業委員会、農業協同組合、りんご協会、市場等関係団体と相携えて邁進する。